

令和7年度 岐阜市障害者総合支援協議会 専門部会（テーマ別分科会） 下半期 実績報告

◆第5回

日時	令和7年10月15日（水） 午後3:30～午後5:00
場所	市役所6-1大会議室
テーマ	地域とつながるためにできること～介護保険サービス分野を参考に～
参加	地域包括支援センター 16名 民生委員・児童委員協議会 5名 一般・特定・障害児相談支援事業所 16名 委託事業所 4名 （合計41名）
内容	障がいのある方と地域のつながりの現状やインフォーマルな支援、介護保険サービスの支援者や民生委員・児童委員の取組等を知り、障害福祉サービスの支援者としてできる取組等について協議した。
成果	地域包括支援センターは地域ごとに存在しており、障がい分野でも同様に地域と繋がることの難しさはあるが、地域活動については、包括支援センターと基幹相談支援サテライトや行政等も含めて連携していくことが大切である。 それぞれの方の持つ人との繋がりを知ること、繋ぎ直すという視点も必要である。様々な機関と確実に繋がることでその地域で安心して暮らすことができる。

◆第6回

日時	令和7年12月9日（火） 午後3:30～午後5:00
場所	市役所6-1大会議室
テーマ	医療的ケア児者への支援について
参加	当事者団体 3名 一般・特定・障害児相談支援事業所 13名 市役所関係課 14名 委託事業所 4名 （合計34名）
内容	12月9日のテーマ別分科会に先立ち、医療的ケア児者の日常生活の場（ご自宅）を12月1日に見学し、ご家族様方の生活も含め、見学して感じたこと等を共有し、今後の岐阜市の支援体制について協議した。
成果	支援者個人の限界を認めつつ、チームで補完し合う体制が必要である。 岐阜県の相談窓口「みらい」等の専門機関と連携し、フォローアップを受けながら活動を推進する。 実際に家庭を訪問し、生活の場を見ることで初めて見えてくる課題がある。これからも家庭訪問を通じた深い理解と対話の機会を広げたい。

◆第7回

日時	令和 8 年 2 月 3 日（火） 午後 3 : 3 0 ~ 午後 5 : 0 0										
場所	市役所 6 - 1 大会議室										
テーマ	災害時の支援について ～ 防災対策と個別避難計画 ～										
参加	<table> <tr> <td>当事者団体</td> <td>4 名</td> </tr> <tr> <td>一般・特定・障害児相談支援事業所</td> <td>1 9 名</td> </tr> <tr> <td>委託事業所</td> <td>4 名</td> </tr> <tr> <td>傍聴</td> <td>1 名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(合計 2 8 名)</td> </tr> </table>	当事者団体	4 名	一般・特定・障害児相談支援事業所	1 9 名	委託事業所	4 名	傍聴	1 名		(合計 2 8 名)
当事者団体	4 名										
一般・特定・障害児相談支援事業所	1 9 名										
委託事業所	4 名										
傍聴	1 名										
	(合計 2 8 名)										
内容	<p>岐阜市では、緊急時や災害時に活用できるサポートブックの内容や活用方法、災害時を想定した個別避難計画の様式、災害を想定して課題になること等について、令和4年度から毎年協議を行ってきた。今年度から相談支援専門員が個別避難計画を作成している。</p> <p>今回は、その状況を受け、個別避難計画を作成した相談支援専門員の報告を聞き、作成する上での課題や作成後の活用等を協議した。</p>										
成果	<p>個別避難計画作成をきっかけに避難用具の備え状況、具体的な避難行動をイメージできたこと自体が、当事者・支援者双方にとって大きな一歩となった。計画作成を特別な業務と捉えず、普段の業務の延長線上として捉え直すことで、周囲の意識向上にも波及していくことが期待される。</p> <p>当事者、支援者、行政の三者が災害対策を自分事として捉え、障がいのある人の個々の事情に配慮したつながりを持ちながら、実効性のある個別避難計画の作成と支援体制構築へつなげていけると良い。</p>										